

ニュースレター22号【防災学術連携体】2019/08/31

防災学術連携体は、日本学術会議とともに平常時から学会間の連携を深め、大災害等の緊急事態時には、学会間の緊急の連絡網として機能することを基本的な目的として活動しています。大災害への備えと対策は長期にわたるため、平常時から政府・自治体・関係機関との連携を図るとともに、緊急事態時に円滑な協力関係が結べるように、学術連携ネットワークを維持し、ホームページを充実させ、防災に関する種々の情報の発信と共有化を積極的に進めて行きます。

防災学術連携体 代表幹事 米田雅子（慶應義塾大学特任教授、日本学術会議会員）

代表幹事 古谷誠章（早稲田大学教授、日本建築学会前会長）

第4回防災推進国民大会において、第8回防災学術連携シンポジウム・日本学術会議公開シンポジウムを開催します



テーマ：「**あなたが知りたい防災科学の最前線—激化する気象災害に備える—**」

日時：2019年10月19日（土）16:30~18:00

会場：名古屋市ささしまライブ24エリア・メインホールB

（〒453-0872 愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60-12 グローバルゲート 名古屋

屋コンベンションセンターエリア 3F） [会場詳細](#)

主催：日本学術会議防災減災学術連携委員会、防災学術連携体

参加費：無料 / 申込み：事前申し込みは[こちらから](#) 当日の直接参加も可能です。

趣旨：地域の防災力の強化に科学を役立てるため、市民の皆様が知りたい気象災害に関する防災科学の最前線を、各分野の専門家からわかりやすく伝えます。各分野の専門家と市民との相互交流を図り、地域や個人が準備すべき防災の備えに関する情報を参加者に提供し、防災力の強化をめざします。

16:30 開会

司会 日本学術会議連携会員、防災学術連携体副代表幹事 目黒公郎
挨拶 日本学術会議会員、防災減災学術連携委員会委員長 米田雅子
趣旨説明 防災学術連携体代表幹事、早稲田大学教授 古谷誠章
講演「気象災害への防災・減災に関する課題と防災科学への期待(仮)」
岐阜県危機管理部防災課長 岩田秀樹

16:40 講演・防災科学の最前線

日本気象学会：地球温暖化に伴う台風の変化と台風防災のための航空機観測（坪木和久）
日本リモートセンシング学会：衛星データを利用した気象災害への取り組み（伊東明彦）
日本風工学会：台風・竜巻から身を守る（小林文明）
日本自然災害学会：土砂災害からみた最近の豪雨の評価（林 拙郎）
日本建築学会：2018年西日本豪雨による被害と土砂災害警戒区域（三浦弘之）
日本応用地質学会：2018年西日本豪雨災害における地質・地形的要因と避難行動（鈴木茂之）

土木学会：日本全国の中小河川を対象にした洪水・氾濫予測の最新技術（佐山敬洋）
日本地理学会：水害ハザードマップを補う地形分類図（海津正倫）
日本災害医学会：伊勢湾台風の経験を元にした病院の災害対応と備え（北川喜己）
日本ロボット学会：病院におけるAI技術を利用した発災時対応技術（藤重 裕）

17:50 質問コーナー「あなたの質問に答えます」

一般市民からの質問と講演者による回答 ---- 質問の残りは、質問箱に入れていただき、後日HPにて回答します

18:00 閉会

挨拶 日本学術会議連携会員、防災学術連携体事務局長 田村和夫

https://janet-dr.com/060_event/20191019.html

防災学術連携体幹事・事務局長

田村和夫（日本学術会議連携会員）

小野寺篤（日本建築学会 事務局長代理） 防災学術連携体事務局

website@janet-dr.com

担当：麓 絵理子（フモト エリコ）、小野口弘美（オノグチ ヒロミ）

・ニュースレターの配信依頼、配信解除もここにご連絡下さい